

実績報告書

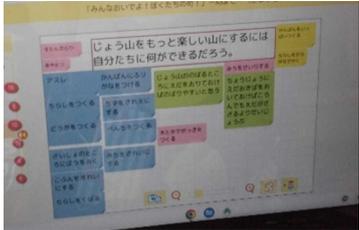
静岡県 島田市立大津小学校	実施学年： 2年 児童数： 26人（1学級） 実施教科等： 生活科 実施時間数： 16時間
実施／参照プログラム	No.11 地域景観プランナーになろう



●学習のねらい・学習活動・準備品・実施場所

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 学区探検を通して大津地区にある「人・もの・こと」の景観の特徴を知り、自分の住む町に興味をもったりよさを実感したりする。 ● 自分たちの身近にある城山に登ったり城山の整備に携わる人々から話を聞いたりすることで、地域の人に大切にされている山があることや、城山を魅力ある山にするために多くの人々が関わっていることを実感する。 ● 自分たちの住む町をよりよくしたいという思いを高め、そのためにどんなことができるかという考えをもち、自分たちのできることを実践し、地域に発信することができる。
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 自慢を見つける：学区探検をし、「人・もの・こと」の自慢を見つける。 ● 理解を深める：ボランティアの方から城山の歴史やよさについて話を聞く。 ● 課題を見つける：城山に登る。今の城山の様子について話し合う。 ● 考える：城山をもっと楽しい山にして大勢の人に楽しく登ってもらうために、自分たちにできることを考える。 ● 実践する：自分たちが考えたことを実践する。（チラシ、PR、看板、景色） ● 発信する：自分たちが実践したことをまとめ、発表する。
準備品	<ul style="list-style-type: none"> ● Chromebook、デジタルカメラ ● 学習カード ● 模造紙、画用紙、ダンボール ● 木材 ●マジック、クーピー、ペンキ
実施場所	● 教室、学区内、城山

●学習の流れ

	場所	概要	活動記録	児童の反応
1 時 間	学区内	<ul style="list-style-type: none"> ● 大津地区の探検に出かけ、地域の特徴を知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 「鳥の鳴き声をしたよ。」 「周りを山で囲まれているね。」「川には魚がたくさんいたよ。」など、今まで何気なく生活していた自分たちの町の様子に興味をもった。 ○ 近くにある「城山」はどんな山なのかという思いをもった。
1 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> ● 「城山を学ぶ会」の方から城山の話聞く。 ● 「城山を学ぶ会」の方が、もっと大勢の人に城山のよさを知ってもらいたい、みんなが登りやすい山にしたいという願いをもっていることを知る。 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 城山の下草刈りや木の伐採などをして登山道を整備してくれている人がいることを知り、驚いていた。 ○ 城山に登ってみたいという思いを膨らめた。
3 時 間	城山	<ul style="list-style-type: none"> ● 「城山を学ぶ会」の方の説明を聞きながら実際に城山に登る。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 看板がわかりづらいことや危険な箇所があったこと、登り口にあるパンフレットが古いことなどに気付いた。 ○ 子供でも登りやすい高さの山だと感じていた。 ○ 大津地区を見渡すことができ、遠くに富士山や伊豆半島も見えて、自分たちが想像していた以上に頂上からの眺めがよいことに感動していた。
1 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> ● 城山に登った時の写真をスライドで振り返りながら、「城山」をよりよくしたいという思いをもって友達と話し合う。 ● 自分たちにできそうな工夫を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チラシを作りたいな。 ・ ポスターを作って色々なところに掲示したいな。 ・ 看板を新しくしたいな。 ・ 看板にクイズを入れたら楽しくなるかな。 ・ 頂上の掃除をしたいな。 ・ 危ないところには目印を付けた方がいいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 城山に登った時のスライドを見ながら振り返ることで、色々なアイデアが生まれた。 ○ 中には、自分たちだけでできるだろうか、という心配を口にする子もいた。 

	場所	概要	活動記録	児童の反応
5 時 間	教室 城山	<ul style="list-style-type: none"> ● 城山をもっと楽しい山にするために、グループの仲間と試行錯誤しながら作業をする。 ● 作業をしながら困ったことや相談したいことを「城山を学ぶ会」の方に伝える。 ● 実際に城山に行き、PR動画を撮影したり頂上のベンチの掃除をしたりする。 ● 城山を学ぶ会の方に手伝ってもらいながら、一緒に作業を進める。 ● 看板や顔はめパネル、パンフレットの設置は、城山を学ぶ会の方の助けを借りる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ チラシ、ポスターグループ ・ 途中(看板)グループ ・ 景色(頂上)グループ ・ 景色(掃除)グループ ・ 動画 PR グループ <p>に分かれて作業を進めた。</p>   	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取り組みたい内容別にグループを作り、話し合うことによって、多くのアイデアが生まれた。 ○ アイデアはたくさん出たが、自分たちでできそうなことと大人の助けが必要なことがあることに気付いた。 ○ 地域の方に手伝ってもらいながら、自分たちで考えたことが実現できたことに喜びを感じていた。 ○ 身近にある城山に、今まで以上に愛着が生まれ、一緒に登ろうと家族を誘う子も見られた。 
5 時 間	体育館 教室 城山 教室	<ul style="list-style-type: none"> ● 城山を楽しい山にする活動『みんなおいでよ！ぼくたちの町』で、自分たちがしてきたことや学んだことをまとめ、発表する。(かがやき発表会)  <p>城山が楽しい山になったか、全員で二回目の登山をし、五感を使って確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今までの学習の振り返りをする。 	  	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちがしてきたことを「かがやき発表会」で全校に伝えるために、取組の写真を提示したり実際にクイズを出したりしながら、相手意識をもって発表するよう工夫していた。 ○ かがやき発表会終了後、他学年から「城山に登りたくなったよ。」「楽しそうな山だね。」等の感想をもらい、自分たちがしてきたことへの達成感と、充実感を得られた。 ○ もう一度城山に登り、顔はめパネルや看板が設置されていることを確認したことにより、自分たちの思いが実現したと実感していた。

●児童の作品◎じょう山ちゃん（オリジナルキャラクター）◎登山道に立てた看板



◎頂上に設置した顔はめパネル

◎城山をPRするチラシ



●先生の声

【実施にあたり工夫した点・苦労した点】

- 子供たちの実態を考慮しながら、主体的に取り組もうとする姿勢に繋がるように体験活動を取り入れたり、城山を何とかしようという思いをもたせたりする授業展開を工夫した。
- 地域の歴史に関わる内容であり、分からないことが多かったため、自治会、城山を学ぶ会、里山どんぐりの会等、地域の方や学校職員の協力を得ながら情報を集めた。
- 子供たちの思いを実現するためには、学校だけではできないことが多かったため、地域と連携して進めていった。そして、地域の方々の事前の打ち合わせを丁寧に行い、学習のねらいや計画、子供たちの思いを共有しながら展開していった。
- 実際にクイズの看板や顔はめパネルを設置する時も、子供たちに立ち会わせたい思いもあったが、時間的に厳しく、授業時間の確保に苦労した。
- 今回は廃材を活用して看板やパネルを製作したが、何か行動を起こすためには経費の工面が必要である。

【児童の反応】

- 教室から見える景色として普段何気なく見ていた城山が、実は地域にとってとても大切な山であり、城山を守るために努力してくれている人たちがいることを知った。
- 他学年や地域の方々から城山に登って「楽しかった」「ありがとう」という感想をもらい、喜びや達成感につながった。
- 自分たちの力で城山を変えることができたという達成感が、城山や地域を大切にしていきたいという思いに繋がった。

【教師の変化】

- 子供たちの思いを形にするためには、学校だけの力ではできないこともあるが、地域の方々の協力を得ることで実現できることがあると学んだ。
- 学校の周りについて学ぶことができ、地域の方々とのつながりができた。
- 城山を舞台とした景観まちづくりに関わった子供たちが、やがて大人になった時に、地域のまちづくりを担う人間になるかもしれない、という期待を抱くことができた。